

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5068123号
(P5068123)

(45) 発行日 平成24年11月7日(2012.11.7)

(24) 登録日 平成24年8月24日(2012.8.24)

(51) Int.Cl.

G06F 3/12 (2006.01)
G06F 13/00 (2006.01)

F 1

G06F 3/12
G06F 13/00 547V

請求項の数 4 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2007-239021 (P2007-239021)
 (22) 出願日 平成19年9月14日 (2007.9.14)
 (65) 公開番号 特開2008-77656 (P2008-77656A)
 (43) 公開日 平成20年4月3日 (2008.4.3)
 審査請求日 平成22年9月13日 (2010.9.13)
 (31) 優先権主張番号 11/523262
 (32) 優先日 平成18年9月18日 (2006.9.18)
 (33) 優先権主張国 米国(US)

(73) 特許権者 596170170
 ゼロックス コーポレイション
 XEROX CORPORATION
 アメリカ合衆国、コネチカット州 068
 56、ノーウォーク、ピーオーボックス
 4505、グローバー・アヴェニュー 4
 5
 (74) 代理人 100079049
 弁理士 中島 淳
 (74) 代理人 100084995
 弁理士 加藤 和詳
 (72) 発明者 クレイグ マーティン
 アメリカ合衆国 14667 ニューヨー
 ク州 ヘンリエッタ エアーシア レーン
 62

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 Java (登録商標) 2プラットフォームエンタープライズ版 (J2EE) ベースのウェブパブリッシング方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータネットワーク・ワークステーションにおいて実行されるウェブパブリッシング方法であって、前記コンピュータネットワーク・ワークステーションが、ユーザインターフェースと、コントローラとを含み、

前記ユーザインターフェースが、ユーザからのウェブサイトへの印刷オプションの選択を受け付け、

前記ユーザインターフェースが前記受け付けに応じてレンダリング対象の画像を前記コントローラに送出し、

前記コントローラが前記画像をブラウザで表示可能なフォーマットに変換し、

前記コントローラが A c c X E S (登録商標) コントローラを含み、前記 A c c X E S コントローラが前記画像をパッケージングして Java 2 エンタープライズ版 (J2EE) (登録商標) 形式で受容可能な E A R ファイルに変換し、

前記コントローラが前記 E A R ファイルを、前記コントローラ内の J B o s s アプリケーションサーバに配置する、

ことを含むウェブパブリッシング方法。

【請求項 2】

前記コントローラがユーザに前記画像の配置ステータスを通知し、

前記コントローラが前記画像が配置されるウェブサイトの U R L を前記ユーザに提示する、

10

20

ことをさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記ユーザインターフェースがユーザによる画像の選択をさらに受け付ける、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ウェブパブリッシングシステムにおいて実行される J 2 E E (登録商標) ベースのウェブパブリッシング方法であって、前記ウェブパブリッシングシステムが、ユーザインターフェースと、コントローラと、アプリケーションサーバを含み、

前記ユーザインターフェースがユーザからのウェブサイトへの印刷オプションの選択を受け付け、

前記受け付けに応じて前記ユーザインターフェースがレンダリング対象の画像を前記コントローラに送出し、

前記コントローラが前記画像をブラウザで表示可能な標準フォーマットに変換し、

前記コントローラが A c c X E S (登録商標) コントローラを含み、前記 A c c X E S コントローラが前記標準フォーマットをパッケージングして、あらゆる J a v a 2 エンタープライズ版 (J 2 E E) (登録商標) 形式で受容可能な E A R ファイルに変換し、

前記コントローラが前記 E A R ファイルを、前記コントローラ内の J B o s s アプリケーションサーバ内に配置する、

ことを含む方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明はプリンタ、コピー機、スキャナ、ファクシミリ送受信機などの画像処理システムおよびレンダリングデバイスに関する。また、本発明は保護された安全なウェブパブリッシング方法の分野に関する。さらに、本発明はウェブ印刷管理ツールを利用した J a v a 2 エンタープライズ版 (J 2 E E) (登録商標) ベースのウェブパブリッシング (ウェブページ作成及び公開) に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

印刷ジョブは、一般にフィードバックが限定され、実際の印刷処理用メモリが小さく、セキュリティの面でオプション (選択肢) が限定された、一時的なタスクである。現在、情報の電子共有はますます普及している。しかし情報共有プロセスは、特にウェブベースの場合、その場限りの (アドホックな) ものとなっている。従って、ウェブベースの閲覧用に出力が最適化される、よりロバストな電子共有媒体様式が求められている。

【0 0 0 3】

J 2 E E (登録商標) プラットフォームは、エンタープライズ (企業) アプリケーションを標準化モジュラーコンポーネントに基づいたものとし、標準化モジュラーコンポーネントに対しサービス一式を提供し、複雑なプログラミングを行うことなくアプリケーション挙動の詳細に自動的に対処することで、エンタープライズアプリケーションを簡略化する。J 2 E E (登録商標) プラットフォームは、Enterpris e Java Bean (E J B) (登録商標) コンポーネント、Java サーブレットアプリケーションプログラミングインターフェース (Java Servlets Application programming interface : A P I) 、Java サーバページ (Java Server Pages (J S P) (登録商標) および拡張可能マークアップ言語 (Extensible Markup Language : X M L) 技術を完全にサポートする。J 2 E E (登録商標) スタンダードは、J 2 E E (登録商標) プラットフォームをサポート可能な広範囲の既存のエンタープライズシステムにおいてアプリケーションのポートアビリティを保証するための完全な仕様およびコンプライアンス試験を含む。さらに、J 2 E E (登録商標) 仕様はウェブサービス相互運用 (W S - I) ベースのプロファイルのサポートを通じ、ウェブサービスの相互運用を保証する。

10

20

30

40

50

【0004】

従来技術は保護された安全な印刷のための EJB (登録商標) ベースのエンタープライズ印刷アーキテクチャを提供している。EJB (登録商標)、エンタープライズプリントイングビーン (Enterprise Printing Bean: EPB)、Java (登録商標)、J2EE (登録商標)、およびドキュメントオーサリングの各特徴が組み合わされ、口バストなエンタープライズ印刷アーキテクチャが可能となる。Java (登録商標) オブジェクトは印刷ジョブ仕様をカプセル化し、印刷ジョブへのアクセス制御を可能とする枠組みを提供すると同時に監査能力を提供する。印刷制御言語は Java (登録商標) オブジェクトにより提供されるメソッドにより特定される。実際のプロセス実施はさらなるセキュリティおよび制御の層を可能とするサーバ経由で供給される。ジョブの安全な印刷を望むユーザは、コンテンツへのアクセス権を得るための適切な証明書を印刷ジョブビーンに供給し、印刷サーバ証明書により印刷ジョブの印刷が許可される。EJB (登録商標) API は標準的な EJB (登録商標) に存在するあらゆる J2EE (登録商標) 能力を印刷ジョブに適用することを可能とすべく拡張できる。さらに、新規な Java (登録商標) API は他の印刷言語よりも強力なページ記述言語を提供する。

【0005】

他の方法によって、印刷機能を通じたプログラム出力がワールドワイドウェブ (WWW) 用にフォーマットされる。アプリケーションはウェブ閲覧用にフォーマット可能なソースファイルを作成し、ソースファイルを印刷ドライバプログラムに転送する。WWWフォーマットが選択されると、WWWでの閲覧用にプログラム出力がフォーマットされる。

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0006】**

従来の方法は場合により複雑且つ高価であった。情報の電子共有がますます普及したことで、改良されたセキュリティとアクセス権とを有する単純且つ低コストなウェブパブリッシング方法が求められている。

【課題を解決するための手段】**【0007】**

本発明は、J2EE (登録商標) での実施、およびウェブアクセス可能なコンテンツをパッケージングするためのエンタープライズアーカイブ (Enterprise Archive: EAR) ファイルの利用に関連して説明される。EAR フォーマットはポータブル且つ低コストであり、基本的なポータブルドキュメントフォーマット (PDF に似たフォーマット) の機能を提供すべく拡張できる。この方法は、気軽なウェブパブリッシングを行う簡単な方法であり、コンテンツをウェブフレンドリー (ウェブに適した) なフォーマットに変換し、ユーザがネットワーク印刷パラダイムを熟知していることを前提に構築されたレポジトリにファイルを転送する方法よりも簡単である。この機能性はフィーチャーキー (feature key) を介して制御されることが予測され、したがって収入につながる。

【0008】

したがって、本発明の一態様は、プリンタ、コピー機、スキャナ、ファクシミリ送受信機などの改良された画像処理システムおよびレンダリングデバイスを提供する。

【0009】

本発明の別の態様は、安全なウェブパブリッシング (ウェブページ作成及び公開) 方法の提供である。

【0010】

本発明のさらなる態様は、ウェブ印刷管理ツールを利用した安全なウェブパブリッシングの提供である。

【0011】

本発明の特徴によれば、ウェブパブリッシング方法は、ユーザがユーザインターフェース上で「ウェブサイトへ印刷」オプションを選択し、レンダリング対象の画像をコントロー

ラに送出し、コントローラにおいて画像がブラウザで表示可能なフォーマット（例えばJ P E G）に変換され、画像をパッケージングしてJava 2エンタープライズ版（J 2 E E）（登録商標）形式で受容可能なファイルとし、画像をアプリケーションサーバに配置することを可能とする。

【0012】

さらなる特徴によれば、画像の配置ステータスがユーザに通知され、画像が配置されるウェブサイトのURLがユーザに提示される。

【0013】

別の特徴によれば、アプリケーションサーバからのファイルへのアクセスに対しパスワードを設定できる。

10

【0014】

前述の態様ならびに他の目的および利点は、ユーザがワークステーションから画像を送出し、媒体タイプとして「ウェブサイトへ印刷」オプションを選択することで実現される。画像はブラウザで表示可能な標準フォーマット（例えばジョイントフォトグラフィックエキスパートグループ（Joint Photographic Experts Group: J P E G））に変換される。次いでこれらの画像は画像をパッケージングしJ 2 E E（登録商標）EARファイルとするための新しい出力チャネルに集められる。J 2 E E（登録商標）EARファイルは、ユニフォームリソースロケータ（URL）およびStruts MVC（モデルビューコントローラ）によるユーザインタフェースを特定するためのあらゆるJ 2 E E（登録商標）形式に従う。次いでEARファイルはJBoss配置ディレクトリに入れられ、ユーザが利用できるようになる。ユーザはドライバもしくはクライアントツールインタフェース上で、印刷の成功を通知し、ユーザに新しいURLを提示し、所望により新しいウェブサイトをパスワードで保護するか否かを尋ねるプロンプトを受け取ることができる。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0015】

本願明細書に開示する実施形態はホストオペレーティングシステムや1以上のソフトウェアモジュールに関連させて実施することもできることに留意されたい。このようなモジュールは、例えば、コンピュータシステムの電子コンポーネントなどのハードウェアモジュールを構成しうる。また、このようなモジュールはソフトウェアモジュールをも構成しうる。一般的に、コンピュータプログラミング技術では、ソフトウェアモジュールは特定のタスクを実行し、あるいは特定の抽象データ型を実施するルーチンおよびデータ構造の集合体として実施できる。

30

【0016】

一般的にソフトウェアモジュールは画像処理装置の記憶域に記憶可能な指示（命令）格納媒体を含み、通常は2つの部分からなる。第一にソフトウェアモジュールは他のモジュールまたはルーチンによるアクセスが可能な定数、データ型、変数、ルーチンなどをリストすることができる。第二に、ソフトウェアモジュールは、プライベート（すなわち当該モジュールにのみアクセス可能）な実施として構成でき、モジュールが基礎とするルーチンまたはサブルーチンを実際に実施するソースコードを含む。本願明細書で用いる場合、用語「モジュール」はソフトウェアモジュールまたはその実施体を指すことがある。これらのモジュールは、伝送媒体および記録可能媒体を含む信号保持媒体により実施できるプログラム製品を作成するために別々にまたは組み合わせて利用できる。このようなモジュールの一例が図1に示すモジュール122である。

40

【0017】

なお、本発明は完全に機能的な画像処理装置（例えばコンピュータシステム）に関連して説明するが、本発明のメカニズムは各種形態のプログラム製品として配布でき、また本発明は実際に配布を行うために利用される信号保持媒体の種類に関わらず等しく応用できることは当業者には明らかである。信号保持媒体の例としてフレキシブルディスクやC D - R O Mなどの記録可能媒体、およびアナログまたはデジタル通信リンクなどの伝送型媒

50

体が挙げられるが、これらに限定されない。

【0018】

本願明細書で開示される実施形態は多数の異なるオペレーティングシステムで実行される各種コンピュータを含む各種システムで実行できる。コンピュータは、例えばパーソナルコンピュータ、ネットワークコンピュータ、中規模のコンピュータまたはメインフレームコンピュータなどが利用できる。好適な実施形態では、コンピュータはローカルエリアネットワーク（LAN）または広域ネットワーク（WAN）内のネットワークプロセッササービスアーキテクチャ内の制御点として利用される。

【0019】

図面、特に図1を参照すると、好適な実施形態を実施可能な代表的な画像処理装置100（例えばコンピュータ）のブロック図が示されている。図示されるように、プロセッサ（CPU）101、読み出し専用メモリ（ROM）102、ACCESS（登録商標）コントローラ121およびランダムアクセスメモリ（RAM）103は画像処理装置100のシステムバス105に接続されている。コントローラ121は安全なウェブパブリッシングのためのJ2EE（登録商標）ベースのウェブ印刷管理ツールを利用する。上述したようにモジュール122を含むメモリ120が含まれていてもよい。メモリ120はROM、RAM、これらの組合せ、あるいは単に汎用記憶装置として実施できる。画像処理装置100の設計に応じて、メモリ120はROM102および/またはRAM103の代わりに、あるいはこれらに追加して利用できる。

【0020】

したがって、画像処理装置はCPU101、ROM102、およびRAM103を含み、これらは周辺機器相互接続（Peripheral Component Interconnect：PCI）ホストブリッジ107を介して画像処理装置100のPCIローカルバス111に接続されている。PCIホストブリッジ107は低待ち時間バスを提供し、プロセッサ101はこのバスを通じてバスメモリおよび/または入出力（I/O）アドレス空間内の任意の場所にマッピングされたPCIデバイスに直接アクセスできる。さらに、PCIホストブリッジ107はPCIデバイスがRAM103に直接アクセスすることを可能とする高帯域バスを提供する。プリンタなどのレンダリングデバイスもしくは再現装置123もまたシステムバス160に接続される。レンダリングデバイスもしくは再現装置123は設計上考慮すべき点に応じて、例えばレーザージェットプリンタ、コピー機、ファクシミリ送受信機、スキャナなどのレンダリングデバイスとして実施されてもよい。

【0021】

さらに、通信アダプタ114、スマートコンピュータシステムインターフェース（SCI）112、および拡張バスブリッジ116がPCIローカルバス111に取り付けられている。通信アダプタ114は画像処理装置100をネットワーク115に接続するために利用される。SCSI112は高速SCSIディスクドライブ113を制御するために利用される。PCI-ISAバスブリッジなどの拡張バスブリッジ116は、ISAバス117をPCIローカルバス111に接続するために利用される。さらに、スピーカ109を通じた音声出力を制御するためにオーディオアダプタ108をPCIローカルバス111に取り付けてもよい。なお、PCIローカルバス111は、画像および情報をユーザに対して表示し、対話方式でグラフィカルユーザインタフェース（GUI）を表示するディスプレイ（例えばビデオモニタ）として機能するモニタ106に接続されてもよい。別の実施形態では、追加の周辺コンポーネントを追加してもよく、既存のコンポーネントをシステムバスに接続してもよい。例えば、設計構成に応じてモニタ106およびオーディオコンポーネント108ならびにスピーカ109を代わりにシステムバス105に接続してもよい。

【0022】

画像処理装置100は、さらに、画像処理装置100の動作に指示を与えるために、グラフィカルユーザインタフェース（GUI）などのインタフェースおよび機械可読媒体内

10

20

30

40

50

に存在するオペレーティングシステム(O S)を含むことが望ましい。好適な実施形態において、O S(および G U I)は、ネットワークプロセスコンポーネントが O S および / またはプラットフォームから独立して存在することを可能とする追加の機能的コンポーネントを含む。R A M 1 0 3 、R O M 1 0 2 、S C S I ディスクドライブ 1 1 3 、および他のディスクおよび / またはテープドライブ(例えは磁気ディスク、C D - R O M 、光ディスク、あるいは他の適切な記憶媒体)などの任意の適切な機械可読媒体が G U I および O S を保持できる。任意の適切な G U I および O S が C P U 1 0 1 に指示を与えることができる。

【 0 0 2 3 】

さらに、画像処理装置 1 0 0 は、例えは R A M 1 0 3 内に存在するカスタム定義サービスユーティリティ 1 0 4 のように、機械可読媒体内に存在する少なくとも 1 つのネットワークプロセッササービスアーキテクチャソフトウェアユーティリティ(すなわちプログラム製品)を含むことが望ましい。ソフトウェアユーティリティは C P U (プロセッサ) 1 0 1 上で実行されると O S と対話する命令(またはコード)を含む。ユーティリティ 1 0 4 は、例えは本願明細書に記載するようなプログラム製品であってもよい。ユーティリティ 1 0 4 は、例えは上述したようなソフトウェアモジュールとして提供されてもよい。

【 0 0 2 4 】

図 2 は好適な実施形態を実施可能な、コントローラにおいて J 2 E E (登録商標) ベースのウェブ管理ツールを用いたウェブパブリッシングシステムの概略ブロック図 2 0 0 を示す。J 2 E E (登録商標) コンテナ 2 1 5 、データベース 2 3 0 、ユーザインタフェース 2 0 5 およびワークステーション 2 3 5 は、ネットワーク 2 2 0 に接続される。ワークステーション 2 3 5 は、ユーザが画像コンテンツを図 1 に示すようなワークステーション 2 3 5 に存在する A c c X E S (登録商標) コントローラ 1 2 1 に送出するためのユーザインタフェース 2 4 5 を有する。図 1 に示すようなコントローラ 1 2 1 は、ユーザが送出した画像からなる J 2 E E (登録商標) エンタープライズアーカイブ(E A R) ファイルを配置するためのアプリケーションサーバ 2 5 5 を有する。

【 0 0 2 5 】

図 3 は好適な実施形態に従って実施可能な、A c c X E S (登録商標) コントローラ 2 2 1 において J 2 E E (登録商標) ベースのウェブ管理ツールを用いるワークステーションのブロック図を示す。ユーザは図 2 に示すユーザインタフェース 2 4 5 を利用して、プリンタドライバ 2 6 0 に画像を送出する。プリンタドライバ 2 6 0 は、ユーザの送出した画像を図 1 に示すような A c c X E S (登録商標) コントローラ 2 2 1 (1 2 1) により解釈可能なフォーマットに変換する。図 1 に示すような A c c X E S (登録商標) コントローラ 2 2 1 (1 2 1) は、プリンタドライバ 2 6 0 により解釈された画像を E A R ファイルに変換し、ウェブ印刷管理ツール 3 2 0 およびモデルビューコントローラ(M V C) 3 2 5 設計パターンを利用して E A R ファイルを J B o s s アプリケーションサーバ 2 5 5 に配置する。

【 0 0 2 6 】

図 4 は好適な実施形態を実施可能な、モデルビューコントローラ(M V C)の概略ブロック図 4 0 0 を示す。図 3 に示したモデルビューコントローラ 3 2 5 は、J 2 E E (登録商標) アプリケーションプログラミングにおいてモデル 2 (M o d e l 2) としても知られる、確立されたプログラミング用の設計パターンである。「モデル」はビジネスロジック 4 1 5 であり、多くの場合リレーションナルデータベースのようなデータストア(記憶部) 4 2 0 のアクセスを伴う。「ビュー」は画像およびデータをウェブページ上で表示するコードである。コードは J S P および J S P により使用されるデータを記憶する J a v a B e a n (登録商標) を含む。「コントローラ」はアプリケーションの全体的な流れを決定するコードである。コントローラは S t r u t s アクション 4 3 0 、構成ファイル、サーブレットのうちの 1 つ以上を含む。図 2 に示した、E A R ファイルを配置するための J B o s s アプリケーションサーバ 2 5 5 は図 4 にも示されている。

10

20

30

40

50

【0027】

一般的に、ユーザインタフェース245は、それ自体はビジネスロジック415を含まないJSPファイル435により作成される。これらのページはMVCアーキテクチャのビュー(画面表示)コンポーネントを表現する。ビジネスロジック415が実行されることを必要とするユーザインタフェース上のフォームおよびハイパーリンクは、アクションサーブレット425にマッピングされた要求URLに送出される。このサーブレットクラスの一つのインスタンスが存在し、ユーザのアプリケーションとの対話状態を変化させる全ての要求を受け取り処理する。

【0028】

アクションサーブレット425は、要求されたビジネスロジック415を実行するための1つ以上のアクション430を選択し呼び出す。アクションは、通常は(利用可能となるまでに必要な時間に応じて)要求またはセッション属性として記憶されているJava Bean(登録商標)を作成もしくは変更することにより、アプリケーションのユーザとの対話状態を操作する。このようなJava Bean(登録商標)はMVCアーキテクチャの「モデル」コンポーネントを表す。一般的に、アクションはユーザインタフェースの新しいページを直接作成する代わりに、ユーザインタフェースの次のページを作成するための制御を適切なJSPファイルに受け渡す。

【0029】

フォームビーン440は一種のJava Bean(登録商標)である。フォームビーン440はアクションフォーム(Action Form)クラスのサブクラスのインスタンスであり、送出されたクライアント要求からのHTMLフォームデータを記憶し、あるいはユーザがクリックしたStructsアクションリンクからの入力データを記憶することができる。HTMLフォームは、ユーザ405が情報を入力できるフィールドを含む。

【0030】

図5は、好適な実施形態に従って実施可能な、ユーザがインタフェース上で印刷オプションを選択した場合に表示される、図2に示したユーザインタフェース245の印刷ダイアログボックス500を示す。プリント詳細セクション505はプリントの名称571、ステータス572、タイプ573およびプロパティ510を表示する。さらに、プリント詳細セクション505は上質紙への印刷515、ファイルへの印刷525、ウェブサイトへの印刷520、ウェブサイトへのスキャン530など、出力媒体のタイプをも表示する。ユーザは印刷画像データに応じて名称571、ステータス572、タイプ573、プロパティ510および出力媒体を選択できる。

【0031】

ユーザは印刷範囲セクション535で、すべて、現在のページ、選択した部分、ページ指定、の選択肢より選択することでページ数を選択できる。また、ブロック540に示すように、ユーザは印刷出力数を選択できる。また、ユーザは丁合チェックボックスをチェックする、あるいはチェックを外すことでページ配置を指定できる。ユーザはブロック574および575で上述のように印刷形式およびカラーブロファイルの利用をそれぞれ選択できる。

【0032】

オプションボタン545は、現在のドキュメントのオプション、両面印刷オプションおよびドキュメントに含まれるべき特徴などを含む。ユーザはブロック550に示すプレビューボタンをクリックすることで送出された画像をプレビューできる。ユーザは、ブロック555、560、565に示すように、ヘルプ、キャンセル、OKボタンをそれぞれクリックすることでヘルプを参照し、印刷をキャンセルし、あるいは送出された画像データを印刷することができる。

【0033】

図6は好適な実施形態を実施可能な、ユーザにより実行されるウェブパブリッシング処理の高レベルフローチャート600を示す。ブロック605に示すように、ウェブパブリ

10

20

30

40

50

ツシング処理が開始される。図5のユーザがブロック520に示す「ウェブサイト上への印刷」を望む場合、ユーザはブロック615に示す「ウェブサイトへ印刷」オプションを選択できる。次いで、ブロック620に示すように、ユーザは図5に示すOKボタン560をクリックすることでウェブパブリッシング用画像ファイルを送出することができる。ブロック625に示されるように、ユーザは送出した画像情報が閲覧できるウェブサイトのURLを受け取る。ユーザはブロック630に示されるようにパスワードを設定できる。次いで、ブロック635に示すように、当該ウェブサイトにパスワードを設定でき、パスワードを設定しない場合、ルーチンはブロック640に進む。最後に、ブロック640に示すように、ユーザにより実行されるウェブパブリッシング処理が終了する。

【0034】

10

図7は好適な実施形態を実施可能な、システムにより実行可能なウェブパブリッシング処理の高レベルフローチャート700を示す。ブロック710に示すように、図1に示したシステムはユーザにより送出された画像ファイルを受け取る。ブロック725に示すように、送出された画像ファイルはJ2EE(登録商標)EARファイルに変換される。次いでブロック730に示すようにEARファイルがJBossアプリケーションサーバ内に配置され、ブロック735に示すように配置に関する通知がユーザに与えられる。次いでブロック740に示すように、画像が配置されるウェブサイトのURLがユーザに送信される。配置に関する通知を受けたあと、システムのユーザはブロック745に示すように、パスワードを設定するか否かを尋ねられる(プロンプトが表示される)。ブロック750に示すように、ユーザがパスワードの設定を望めば、当該ウェブサイトにパスワードを設定できる。最後に、ブロック755に示すようにシステムにより実行されるウェブパブリッシング処理が終了する。

20

【図面の簡単な説明】

【0035】

【図1】好適な実施形態を実施可能な代表的な画像処理装置のブロック図である。

【図2】好適な実施形態を実施可能な、J2EE(登録商標)ベースのウェブ管理ツールを用いたウェブパブリッシングシステムの概略ブロック図である。

【図3】好適な実施形態にしたがって実施可能な、コントローラにおいてJ2EE(登録商標)ベースのウェブ管理ツールを用いるワークステーションのブロック図である。

【図4】好適な実施形態を実施可能なコントローラの概略ブロック図である。

30

【図5】好適な実施形態にしたがって実施可能な、ユーザがインタフェース上で印刷オプションを選択した場合に表示されるユーザインタフェースの印刷ログボックスを示す図である。

【図6】好適な実施形態が実施可能な、ユーザにより実行可能なウェブパブリッシング処理の高レベルフローチャートである。

【図7】好適な実施形態が実施可能な、システムにより実行可能なウェブパブリッシング処理の高レベルフローチャートである。

【符号の説明】

【0036】

100 画像処理装置

40

101 プロセッサ(CPU)

102 ROM

103 RAM

106 モニタ(ディスプレイ)

107 PCIホストブリッジ

112 スモールコンピュータシステムインターフェース

114 通信アダプタ

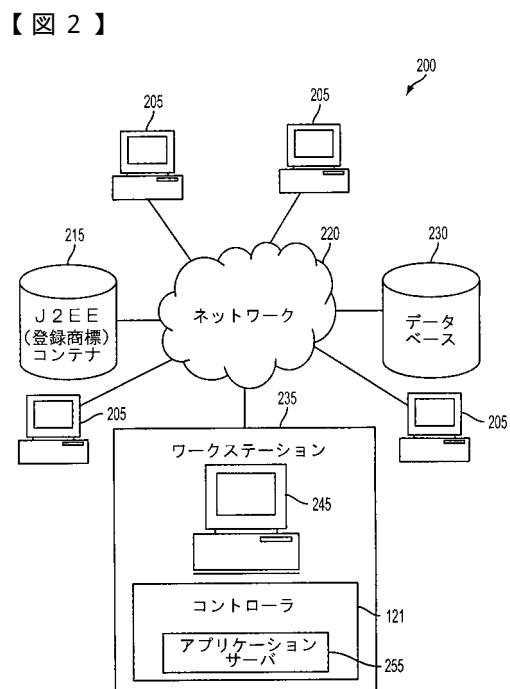
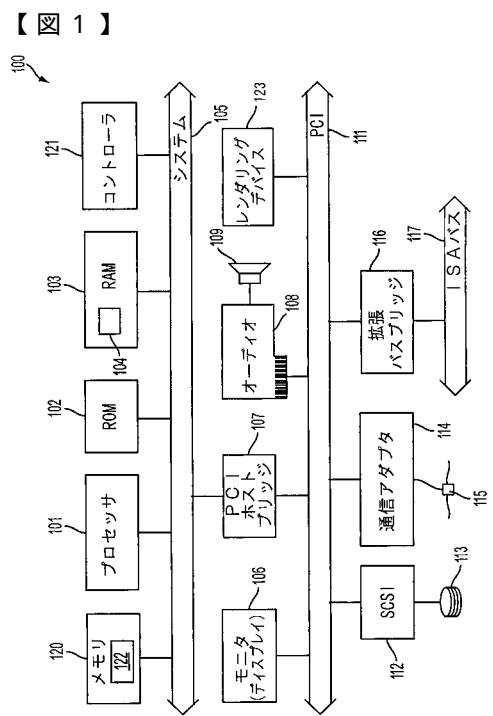
120 メモリ

121 コントローラ

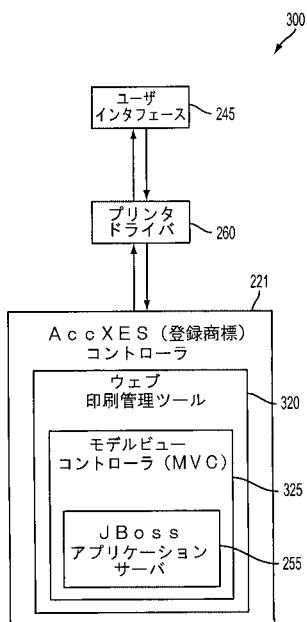
122 モジュール

50

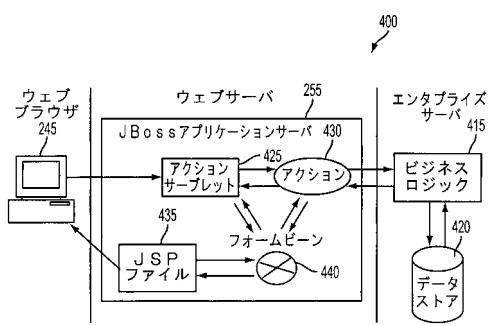
1 2 3 レンダリングデバイス



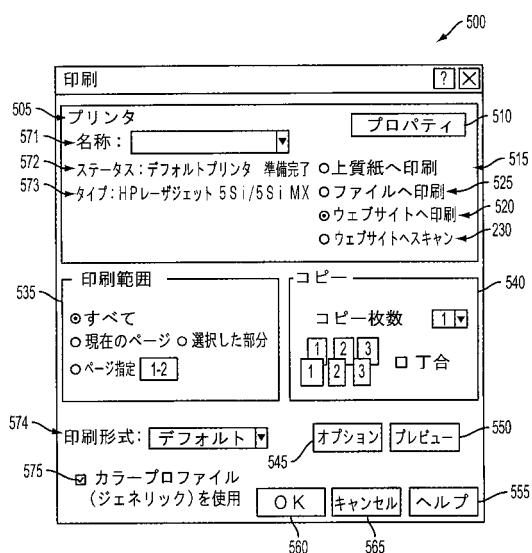
【図3】



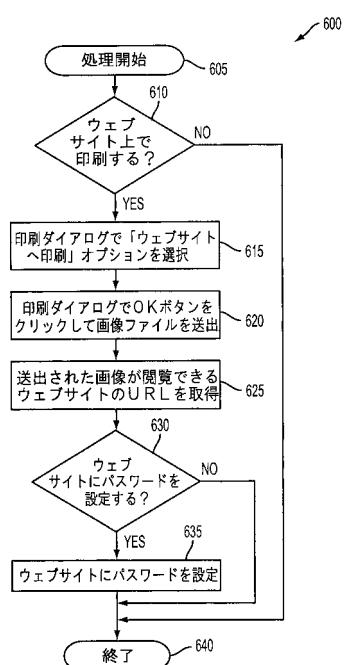
【図4】



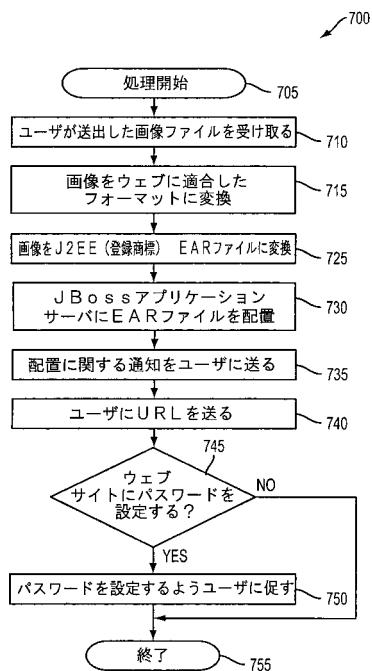
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

審査官 緑川 隆

(56)参考文献 特開2003-256302(JP, A)
特開2005-115757(JP, A)
特開2003-186648(JP, A)
特開2004-178583(JP, A)
特開2004-062243(JP, A)
国際公開第2006/043321(WO, A1)
特開2001-075890(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G 06 F 3 / 12
G 06 F 13 / 00